

主宰作品

染谷秀雄

蟬

雲水の昼の門立ち梅雨兆す
みな通る泰山木の花の下
一条の滝の真下に滝行者
子が追うて駆け出して行く羽抜鶏
雨あとの初心を聞く厨窓
蟬穴の櫂の根方まはりかな
珈琲を濃いめに淹れて朝曇
土用芽の一尺伸びてゐて揺るる
夕立を遣り過ぎしたる軒端かな
朝顔の先の先なる遊び蔓